

埼弓連だより

平成 30 年 11 月 30 日

第
62号

★発行事務局 〒359-0026 所沢市牛沼 250-19 (本橋民夫方) TEL・04-2995-3839

埼玉県弓道連盟総務委員会

埼玉県弓道連盟

大宮公園弓道場について

会長 本橋民夫

現在、埼玉県立の弓道場は、上尾及び大宮公園の2か所にあります。今回は、大宮公園弓道場の状況についてご報告致します。

平成16年に埼玉国体が開催され、それに合わせていろいろな運動施設の整備がなされました。その一環として、上尾市に弓道場を含んだ埼玉県立武道館が新設されました。それに伴い、老朽化した大宮公園弓道場は取り壊しになるという計画になっていたようです。

しかしながら、埼弓連の行事は多く、県立武道館弓道場だけでは対応できないので、大宮公園弓道場の継続使用をお願いしました。そして、維持費はつぎ込まないという条件で取り壊すまでの間は使用させて頂くことになりました。

大宮公園弓道場は、昭和47年に建てられたものであり、雨漏り、壁の破損、トイレの不具合等老朽化が進んでいます。しかし、老朽化していても代替の道場を建てていただいたので、大宮公園弓道場の建て替えはありません。道場の維持は埼弓連で行わなければならないのです。

今後継続して弓道場を使用するには、定期的に掃除をしなければならないとの判断のもと、年に2回の大掃除をすることになりました。大掃除は、大宮公園弓道場の使用頻度が比較的高い、東部支部、県南支部、県央支部及び高体連に交代で、安土の整備、草刈り、老朽化した巻藁等不要物の撤去、道場内の清掃等をして頂いております。

この年に2度の大掃除だけでは、老朽化した施設の清掃は十分ではなく、更に毎月1回の清掃が必要ということになりました。そこで考えられたのが、みんなで道場を使用して、その後に清掃をしようということでした。その結果、

大宮公園弓道場錬成会というものを立ち上げて、毎月第3木曜日に小宮栄子範士にご指導を頂くようにしました。また、錬成会の前後には所要の清掃等を行うということにしました。この主旨のもと、大宮公園錬成会は継続され、弓道場の維持管理もなされています。

このように、大宮公園弓道場が、埼弓連により毎週のように使用されていること及び会員の手によりしっかりと道場が維持管理されていることが県庁のご担当の方に理解され、今年度は雨漏りの激しい控室の改修工事を実施して頂けることになりました。工事は、改修ではありませんが、土台を残して建物の殆どを解体しその上に新規に建てます。そして、今まで畳だった控室は床板を張った部屋にして、講堂としても使用できるようになります。

これらの工事を実施して頂けるようになったのは、特に、地元の会員の方々が公園事務所の職員の方と連携を密にして、意思疎通を良くして下さったからだと思います。こまめに草刈りをしたり、大掃除をしたりする、何かことがあれば迅速に事務所に連絡・相談に出かける、ということにより、公園事務所の職員の方々に好印象を持っていただいた。その結果として公園事務所の方々が県庁のご担当の方に改修要望を出して頂いたものと思います。

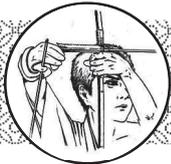
この、地元の会員の皆様の地道な努力と行動が無ければ、今回の改修工事はなかったものと深く感謝しております。

一般の道場においても同じようなことが言えると思います。個人の道場、神社の境内の道場をお借りして稽古をしているところも多いと思います。円滑な道場運営をしていくためには、

地元の皆様のご理解を得ることが出来なければ、長続きはしないと思います。

道場周辺の清掃、草刈り等をこまめに行い、何かあったら地元の方々に相談に出かける。更に、地元の皆様との連携を密にし、好印象を持っていただくことが極めて重要であると思います。

地元の皆様の感情一つで気持ちよく道場を使用することが出来るし、また逆に道場使用も反対されてしまいかねないものです。



専門委員会だより

総務委員会

委員長 浅野 光子

●70周年記念事業

平成30年1月開催の理事会において、平成31年11月3日の埼玉県弓道連盟創立70周年を機会に記念事業を行うことが決議されました。記念祝射会は各支部ごとに開催、記念品は弓巻を作り希望者に有料にて配布、記念誌はこの10年間の記録をまとめて簡素な製本で発行することになりました。総務委員会内に実行委員会を設置し準備を始めています。会員の皆様のご協力を得て記憶に残る70周年記念事業となりますよう努力してまいります。

●業務提要の改訂

埼弓連では会則をもととして、事業の展開に必要な細目を業務提要として作成しています。この間の諸情勢の変化に対応してこの内容を変更する必要が生まれ、総務委員会で改訂の原案を検討しています。当面、女子部規程、表彰規程、旅費規程、行動規程等が改訂されます。なかでも女子部規程は体協、全弓連からの通知に基づいた理事会での数度の議論を踏まえて改訂作業を行っています。

総務委員会の報告からは少し外れますが、永年、女子部の活動に関わった一人として、少し女子部に関して述べておきたいと思います。

昭和52年6月女子部部則が制定され5回の改訂後、平成24年10月20日に埼弓連女子部規程が制定されました。その後41年間、歴代の先生方、女子部長の先生方のお力で女性会員数は男性を上回り、昇段昇格も眼をみはる成果

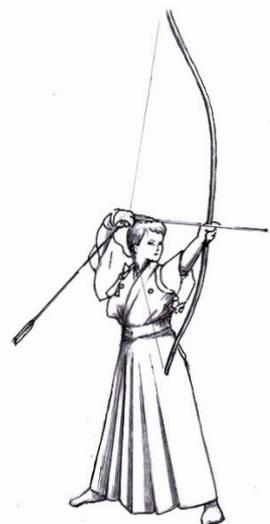
使用料金さえ払えば自由に道場を使用して良いというのではなく、常にいろいろな人に支えられてはじめて弓を引くことが出来るのだという感謝の気持ちを持つことが大切だと思います。

射即人生、射即生活と言われるように、道場は修練を通して人としての在り方、生き方を学ぶ場所だと思います。そのような場所を大切にしていきたいと思います。

を残している今日です。競技会での活躍もめざましいものとなっています。今回の改訂はこうした土台の上にさらに女性弓道人の活躍の場を広げようとするものです。

私が弓道を始めた昭和45年ごろは男性のなかにほんの少しの女子でした。私たちに出来る仕事も限られていましたが、当時の池田邦子女子部長は「女子大会は全部女子で行う、なんでもする、経験する、出来るようになりましょう」と、おっしゃいました。その思いが今回の女子部規程の改訂にも流れています。

「男女平等」この言葉には夢があり希望があります。男尊女卑が何百年いいえ一千五百年以上続いた日本です。変わる事はとても難しく大変なことです。今までどおり敷かれたレールに乗り走っていた方が間違いなく、結果が予想でき安心していられます。しかし時代は女性に変わるチャンス与えてくださいました。埼弓連女子部規程が大きく変わることがきっかけとなり、女性がより活躍する埼弓連になってもらいたいと私は願っています。そして、そうした埼弓連のバトンを次の時代に繋ぎたいと思っています。



画・松本 正

指導委員会

公認指導員と公認資格制度について

副委員長 古泉 利昭

平成30年度4月1日に施行された「公認資格制度」ですが、「公認指導員」との関係で指導委員会にいろいろな質問が寄せられておりますので、紙面をお借りしてその関係を整理してみたいと思います。

はじめに「公認弓道指導員」資格ですが、日本スポーツ協会が認定する資格で、共通科目Ⅰ(NHK学園の通信教育)の受講と専門科目(40時間の実技)を修了することで認定されます。但し、40時間の専門科目の講習は、場所の確保や講師の関係で開催がなかなか難しいことから、下記の条件を満たした方が、指定の講習会・研修会を受講した場合は、専門科目講習の受講を免除することになっています。

(専門科目の免除の条件)

条件1：錬士取得後4年以上の者(教士・範士取得者含)で本連盟(全弓連)が定める講習会・研修会を受講した者。

条件2：五段取得後4年以上の者で、本連盟が定める講習会・研修会を受講し、本連盟が課す課題試験に合格した者。

条件3：省略(教員対象)

なお、資格の有効期間は4年間で、資格有効期限の6か月前までに更新のための義務研修を受けると資格を更新することができます。

次に「公認資格制度」ですが、正式の名称は「審査委員・審判委員・講師 公認資格認定制度」で概要は表のようになっています。

この制度は、全日本弓道連盟が基本的事業(昇段審査・各種講習会・各種競技会)を公平・公正に運営するために設けた制度です。

資格は、中央委員資格と地方委員資格がありますが、中央委員資格は教士八段以上の先生方が対象ですので、ここでは省略します。

地方委員資格は、連合及び地連の審査会、大会、講習会で審査委員、審判委員、講師を務めるときに必要な資格で、公認弓道指導員資格をお持ちの方が指定の資格認定講習会等を受講し、検定に合格することで資格を得ることができます。

資格の有効期間は3年間で、更新のための講習会を受講することで資格の更新ができます。

なお、平成30年4月1日現在満70歳以上の方には公認指導員資格の免除、また現在公認指導員資格取得手続き中の方には一定期間取得を猶予するとの規定がありますが、詳しくは指導委員会古泉までお問い合わせください。

[地方委員資格の概要表]

| 地方委員資格 | | | |
|--------------------|-------------------------------------|-------------------|--------------------|
| 委員区分 | 審査委員 | 審判委員 | 講師 |
| 担当範囲 | 連合、地方審査会 | 連合会、地連大会 | 連合会、地連講習会 |
| 対象者 | 称号受有者で公認弓道指導者資格保有者 | 五段以上で公認弓道指導者資格保有者 | 称号受有者で公認弓道指導者資格保有者 |
| 年齢 | 年齢制限なし | | |
| 資格認定講習会 資格更新講習会 | 地連主管委員認定講習会、地区指導者講習会、指導者育成講習会、伝達講習会 | | |
| 講習項目 試験項目 | 審査委員：①審査関係規程等 ②公平・公正な審査能力 | | |
| | 審判委員：①競技関係規程等 ②公平・公正な審判能力 | | |
| | 講師：①関係規程・規則等 ②指導力 | | |
| | 共通内容：①救急救命処置及び安全・事故防止 ②法令順守の認識 | | |
| 資格有効期間 及び更新 | 有効期間3年(更新のための講習会を受講して更新可) | | |

競技委員会

県勤労者・県体一般の部要項改正の結果

委員長 岡芹 喜行

平成 30 年度の大会も会員皆様のご協力により順調に進捗しておりますことに感謝申し上げます。

さて、埼玉連だより第 61 号でお知らせしました下記 2 大会の要領改正後の大会実施状況を報告します。

●第 56 回埼玉県勤労者弓道選手権大会

改正点は 2 つ有りました。

- (1) 団体予選通過基準を 12 射 6 中以上に
- (2) 個人予選通過基準を 4 射皆中に

例年、予選通過決定戦に時間がかかり、終了時刻が午後 6 時近くなることから改正しました。

参加申込者数は、予選通過基準が厳しくなったためか、高齢化に伴う勤労者の減少のためかは不明ですが、前年度より 57 名少ない 216 名でした。

団体予選通過は、32 チーム枠のところ 6 中以上の 22 チーム(残り 10 チーム分はシード枠としました。)が通過しました。

個人予選通過者は、前年度 3 中以上 54 名から、4 射皆中者 14 名へと大幅に減少しました。

これにより、決勝戦の時間も短縮され、午後 4 時には後片付けも含めて終了することができました。

この結果を踏まえ、競技委員会では当面この方式を続けていこうと考えております。

●第 31 回埼玉県民総合体育大会(弓道一般)

他支部所属会員でも市町村ごとのチーム編成に加入することができるよう、各支部予選での参加を配慮されるよう改正しました。

今年度は最初ということもあってか、県央支部でのみ 2 名の他支部会員が市町村ごとのチームに加わって県大会へ出場されました。

今後は、さらに他の支部でも同様なチーム編成が出てくると思われ、県連内での支部を越えた交流の増加を期待しております。

今年度は武道大会・県連初射会・全国勤労者予選などの各大会を残しております。会員各位の試合運行へのご協力をお願い申し上げます。

国体選手強化委員会

茨城国体に向けて

委員長 瀧上 三郎

平成 29 年 10 月から、平成 30 年度福井県敦賀市で行われる第 73 回福井しあわせ元気国体に向けて、育成会を 5 回行い、その後、平成 30 年 3 月から予選会を 3 回行って、4 月 30 日に選手を決定しました。

特に成年男子は、第 66 回山口国体を最後に 6 年続けて本国体に出場することができませんでしたので、今年こそ福井国体出場を目指し、関東ブロック突破を目標に、以後の錬成会に臨みました。

今年の夏の気候は、異常なほど気温の高い日が続き、選手たちを悩ませました。8 月 4 日に行われた、茨城県・栃木県・埼玉県の三県合同練習、翌 5 日の三県選抜弓道大会では、高温に見舞われ、特に 5 日は気温が 39 度を超え、あと僅かで 40 度に達する気配で、熱中症危険度が危険領域となり、矢数を減らす等予定を変更して、早めに終了する処置をするほどでした。この猛暑の対応に悩まされた本年でした。

こうした環境にも負けずに、選手たちは、順調に調子を上げていき、8 月 26 日茨城県水戸市での関東ブロック大会に臨みました。選手たちは、全力で試合に臨みましたが、結果は残念ながら成年・少年男女ともに関東ブロックを通過することはできませんでした。

平成 31 年度の国体は茨城県で、関東ブロック大会は千葉県で開催されます。31 年度の茨城国体出場を目標に、11 月から国体選手を目指す方を対象に 4 回の育成会を行います。

この育成会で、的中をほぼ確実にする技術と、強い精神力を培って頂きたいと思います。育成会では新人発掘を第 1 目標に、そして今まで選考会参加者との取り組みで目標に向かって新しい風が吹くことを期待します。

育成会は月に 1 回開催です。日頃の練習の成果を発表する場であることを意識しての参加をお願いします。

審査委員会

審査会委員会の現状とお願い

委員長 齋藤 安次

日頃審査関係の事務・審査会等にご協力頂きまして、誠にありがとうございます。

当委員会は皆さまの審査受審に関する事務に細心の注意を払い、遺漏の無いようにするため、審査申込書の記入要領等を常に見直し、必要に応じて改めておりますので、申し込みに当たっては、埼弓連ホームページ (HP) に掲載の記入要領を参考にさせていただきたいと思えます。HP を閲覧できない人のために、道場に常設をお願いいたします。

また、各道場・支部の受付担当の方は、記載事項を良く確認されますようお願いいたします。

●平成 30 年度審査会 (4 月～9 月) 概要

地方審査会の受審者数 2,167 名 (前年比 76 名減) になっています。

また、他地連主管の審査会への受審者は、地方審査会がゼロ、連合審査会が 340 名 (前年比 23 名増)、学生・教員特別審査会が 187 名 (前年比 84 名増)、中央審査会が 497 名 (前年比 27 名増)、他推薦 1 名になっています。

したがって、現在の総受審者数は 3,191 名 (前年比 58 名増) で前年度より 1.8% 増えています。また、合格の状況は、全体の合格率が 49.7% です。内訳としては、地方審査会が 70.2% (四段 10.5%)、連合審査会が 4.7%、学生・教員特別審査会が 21.9%、中央審査会が 1.8% でした。

●全弓連の各種書類について

地方審査会については、全日本弓道連盟 (全弓連) と埼弓連の委託契約によって実施しています。全弓連は公益財団法人になって以降、審査の公平性を担保するため、様々な規程・基準等を HP で公開しています。審査申し込みにあたっては、以下の書類を参照して下さい。

- ①審査規程及び内規、②審査料・登録料、
 - ③審査における行射の要領、④審査統一基準、
 - ⑤地方審査・連合審査学科問題 (平成 30 年)、
 - ⑥立射での受審申請について、⑦立射の作法、
- 及び、埼弓連 HP に掲載の審査申込書の記入要領。

不明点は、先ず審査受付担当にお尋ねください。

女子部

第 54 回全日本女子弓道大会 (東日本の部) をかえりみて

部長 鷹巣 光子

第 54 回全日本女子弓道大会 (東日本の部) が大過なく無事終了出来ました事、女子会員皆様のご協力の賜物と深く御礼申し上げます。

これも偏に県連会長始め副会長、理事長、副理事長、県連理事の先生方、多くの会員の皆様様の温かいご厚意のお蔭と感謝しております。準備段階では少し手間取りましたが、平野副理事長のご指導の下にプログラムの作成、印刷会社のお蔭で納品も予定通りの運びとなりました事、重ね重ね感謝しております。

運行委員長の綿密な時間割に基づき、役員の皆様様が的確に指示をして下さった事。又、競技の手順も埼玉の有段者の部から始まりましたので、順調に進みこのまま行けば良いかと、気になりましたが予定時間少し前に終了出来た事、感心しました。埼玉の人達の運行が遅くなるようでしたら本日の大会は、時間通りには進まないのではないかと、心配しておりました時に、大きな真っ黒なトンボがスート道場内に入って来ました。紫陽花の花に近寄りぶん、ぶん、ぶん、と 3 回ほどタッチし、頑張れ、頑張れ、と叫んでいるような感じで、又円を描いたあと射場の彼方に飛んで行ってしまいました。あれえ！6 月の初めなのに大きなトンボが飛んで来たとその時思いましたが、閉会式の時に秋山先生が挨拶の中で、小宮先生がトンボに化身していらっしやっていたとのお話を聞き、小宮先生も心残りでおられ我々を、励ましに来て下さったのかと思わず目頭があつくなってしまいました。

飯島副会長を先頭に、この大きな大会が、無事終了することが出来ました事。最後の役員一同が道場に集まり万歳三唱で終了することが出来ました事。他県の人が SNS にお褒めの言葉を寄稿して下さいました事等素晴らしい思い出を沢山、たくさん有難うございました。

これからの女子部については、まだ結論はできていませんので、今後の理事会で良い方向に進められればと思っております。

高 体 連

「部活動の在り方に関する方針」の策定

委員長 山田 紀之

日頃より連盟の先生方には、高体連の活動に御支援と御協力を賜り、感謝申し上げます。

7月13日付で県教育委員会より各学校宛に標記の通知がありました。

この通知は、スポーツ庁の「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」に則り、また、文化部を含む部活動全体を対象とした方針として県教委が策定しました。

各学校は、この方針に則り「学校の部活動に係る活動方針」を策定し、各校のホームページ等に掲載、教職員、生徒、保護者、学校関係者への周知を図り、平成31年4月1日より全校で取組を実施するようというものです。

同時に配布されたリーフレットには埼玉県の一部活動の方針の3つのポイントとして

1 活動時間の設定

- ・平日の活動時間 長くとも2時間程度
- ・休日の活動時間 長くとも3時間程度

2 休養日の策定

- ・平日 少なくとも1日
- ・休日 少なくとも1日以上(週末に取れない時には、振替える)

3 オフシーズンの設定

- ・長期休業中(夏休み・冬休み)は、一定程度長期の休養期間を設ける

またなぜ、方針ができたのかについて

◆生涯にわたる豊かな生活を実現する資質・能力の育成

知徳体のバランスのとれた「生きる力」を育み、生涯にわたる豊かな生活を実現!

◆部活動のニーズの多様化

勝つためではなく、友達と楽しみたい! 適度な頻度でやりたい!

◆教員の多忙化に伴う負担軽減が求められている

諸外国と比べて、日本の教員の課外活動時間が長い

が、あげられています。

もともとは中学校の運動部活動についての課題の論議から、高校も含めてまた文化部も含めてすべての部活動一律の方針策定となりました。

通知の通り、今後年度内に学校ごとの方針を策定することになります。各校顧問の先生方には、学校の実情、弓道の特性を考慮したうえで、方針の趣旨を踏まえ十分な議論をしていただければと思います。この方針が新しい部活動の発展のための契機となるように、また活発な活動、適切な運営が引き続き行われるように、顧問の先生方には御尽力いただきたいと思ひます。

また、弓道部を御支援、御指導いただいている連盟の先生方や、関係のすべての皆様に、生徒のやる気や、顧問の熱意だけではどうにもならない環境が出てきている現状を理解していただき、一層の弓道部員、顧問への応援をお願いできればと思います。

〈大会結果〉

●関東大会県予選

4月21日(土)22日(日) 大宮公園弓道場
女子440名、男子458名

○女子団体/①草加西 A39 中(星 明希・大津由楓・盛武胡桃・牛田美幸)②坂戸西 A38 中(大木涼々花・石井莉香・細淵菜月・春山 萌)③深谷第一 B35 中(大澤 茜・中野優衣・小林優羽希・北沢萌々亜)④深谷第一 A35 中(佐々木あゆみ・代島汐音・北澤あかり・西山海羅)⑤浦和東 A31 中(石川美優・鈴木愛珠・照屋陽光・上野瑞穂) ※女子団体5位まで関東大会出場

○男子団体/①浦和 A41 中(菅 達皓・大村航司・宮本恭伸・山中秀哲)②飯能 A38 中(冨野七惟人・石塚裕基・杉山大知・石川有生)③深谷第一 A38 中(島崎優也・稲田光汰・岩出大和・田中友稀)④大宮東 A37 中(小寺 歩・大内拓実・宮本 光・岡崎由詩) ※男子団体4位まで関東大会出場

○女子個人/①山中菜々子 8 中(与野)②鈴木愛珠 8 中(浦和東)③中野優衣 8 中(深谷第一)

○男子個人/①菅 達皓 8 中(浦和)②志摩安伶 8 中(東農大三)③宮本恭伸 8 中(浦和)

●第22回遠的選手権大会

5月12日(土) 県立武道館
男子133名、女子123名

○男子個人/①安田圭介 90 点(西武文理)②松元優介 82 点(伊奈学園)③金子怜唯 78 点(松伏)

○女子個人/①大澤 茜 92 点(深谷第一)②石井莉香 74 点(坂戸西)③中山 唯 72 点(岩槻商業)

●第 62 回関東高等学校弓道大会

6月1日(金)～3(日) 千葉県総合スポーツセンター体育館特設弓道場

○女子団体／①草加西(星 明希・大津由楓・盛武胡桃・岩渕奈々美)来年度推薦出場 ③深谷第一(大澤 茜・中野優衣・小林優羽希・代島汐音)

○男子個人／⑤石井 玄(岩槻商業)

○女子個人／⑤中野優衣(深谷第一)

●全国高校総体県予選

4月28日(土) 大宮公園、県立武道館、日高、熊谷 個人1次予選

6月9日(土)～10日(日) 大宮公園 団体1・2次、個人2次予選、

6月16日(土) 大宮公園 3次予選・決勝

○男子団体(参加：男子73校)

①川越総合(種市惇輝・岩田幸大・長田大樹・戸張 凧・落合聖也・野口陽輝・榎本大雅)②坂戸西(工藤瑠樹也・小林晶斗・竹澤 翔・高橋郁弥・坂田 岬・松田直城・岸 遼河)③浦和(菅 達皓・工藤由晶・大村航司・平澤駿弥・宮本恭伸・山中秀哲・樋口竣哉)④東農大三(大曾根捷・河原大樹・原口峻一・須永悠大・志摩安伶・佐野馨介・矢島直弥)

○女子団体(参加：女子69校)

①草加西(大津由楓・星 明希・岩渕奈々美・吉田真希・盛武胡桃・竹澤恵莉香・山崎華里奈)②深谷第一(大澤 茜・中野優衣・代島汐音・小林優羽希・北澤あかり・北沢萌々亜・佐々木あゆみ)③坂戸西(大木涼々花・石井莉香・橋本真希・青木奈央・細淵菜月・岡明日美・大塚美侑)④熊谷農業(溝口真生・中村汐音・中里麻琴・福岡 渚・中村さくら・片桐穂乃香・田那部未羽)

○男子個人(参加：男子1057名)

①菅 達皓(浦和)②戸張 凧(川越総合)③岩出大和(深谷第一)

○女子個人(参加：女子1005名)

①海老名栞(久喜)②盛武胡桃(草加西)③佐藤莉緒(飯能)

※男女団体各1位、男子個人1・3位(2位は団体出場のため繰り上げ)女子個人1・3位(2位は団体出場のため繰り上げ)は本大会出場

●国体候補選手選考会

6月24日(日) 県立武道館

○男子／種市惇輝(川越総合)小島佑太(大宮光陵)松元優介(伊奈学園)監督鎌塚尚子(伊奈学園)コーチ田中忠明

○女子／小林優羽希(深谷第一)荒井咲紀(久喜)細淵菜月(坂戸西) 監督坂本修(深谷第一)コーチ古岡大路(坂戸西)

●全国遠的大会県予選会

6月24日(日) 県立武道館

参加：男子32校、女子32校

○男子／①川越18中(野崎俊平・森健太郎・石本 蓮・三浦悠太郎)②岩槻商業16中(石井 玄・三浦賢人・関根雄斗・小越優斗)③久喜北陽14中(長谷川征哉・古島隆正・石川 龍・大山裕貴)

○女子／①浦和北16中(佐藤なづな・鶴田香奈美・天沼美優香・加藤世奈)②坂戸西15中(大木涼々花・石井莉香・細淵菜月・三上陽菜)③深谷第一13中(大澤 茜・中野優衣・小林優羽希・佐々木あゆみ)

※男女上位3校は8月18日～19日に福岡県久留米市で開催される全国高校選抜遠的弓道大会(第20回紫灘旗弓道大会)に出場。なお、男子の坂戸西・浦和は昨年度本大会にて入賞のため推薦出場。

●第 63 回全国高校総体

8月2日(木)～5(日) 静岡県小笠山総合運動公園エコパアリーナ

○女子団体／⑧草加西(岩渕奈々美・盛武胡桃・星 明希・大津由楓・吉田真希・伊藤未紗希)

○女子個人／⑥佐藤莉緒(飯能)

●第 20 回紫灘旗高校弓道遠的大会

8月18日(土)～19日(日) 久留米アリーナ弓道場

○男子団体／③岩槻商業(石井 玄・三浦賢人・関根雄斗・小越優斗)⑤坂戸西(工藤瑠樹也・高橋郁弥・坂田 岬・小林晶斗)

○女子団体／②坂戸西(大木涼々花・石井莉香・細淵菜月・三上陽菜)⑤深谷第一(大澤 茜・中野優衣・小林優羽希・佐々木あゆみ)

※男女入賞校は来年度推薦出場

●関東個人選抜県予選

8月22日(水) 県立武道館 女子483名

8月23日(木) 県立武道館 男子441名

○女子／①坂本恵理(正智深谷)②矢島紗季(入間向陽)③清瀬未来(山村学園)④森田史穂里(栗橋北彩)⑤秦美紗稀(草加東)⑥小池智子(川越工)⑦小櫃沙也香(秩父農工科学)⑧瀬川琉璃(川越初雁)⑨迫田晶子(川越女子)⑩星 明希(草加西)⑪野口かれん(所沢北)⑫山内香乃(西武文理)

○男子／①武藤風雅(蓮田松韻)②飯田 匡(越

谷東)③種市惇輝(川越総合)④飯島裕人(伊奈学園)⑤佐藤幹太(花咲徳栄)⑥戸張 凷(川越総合)⑦高橋郁弥(坂戸西)⑧勝俣皓一郎(成徳深谷)⑨大内拓実(大宮東)⑩小林晶斗(坂戸西)⑪小川瑠貴(春日部)⑫伊藤遥輝(大宮南)※男女各12名が本大会に出場

●第37回関東個人選手権選抜大会

9月8日(土)～9日(日) 東京都明治神宮至誠館中央道場

○女子／①森田史穂里(栗橋北彩)

●新人大会兼県体

10月6日(土) 県立武道館 女子400名

10月7日(日) 大宮公園 男子400名

○女子団体／①坂戸西A(佐藤夕奈・石崎古都

乃・春山 萌・内田馨風)②大宮南A(守屋麻衣・大久保七海・宮本 萌・高柳楓子)③伊奈学園A(田代美沙・工藤美友里・栗原菜優・伊藤千夏)○男子団体／①坂戸西A(小林晶斗・新井公貴・高橋郁弥・中根克海)②大宮東A(岡崎由詩・荒川太一・宮本 光・新井龍也)③浦和A(菅 達皓・大村航司・山中秀哲・宮崎滉巳)

○女子個人／①宮本 萌8中(大宮南)②伊藤優奈8中(伊奈学園)③瀬川琉璃7中(川越初雁)

○男子個人／①大村航司7中(浦和)②清水雄太7中(埼玉栄)③東海枝航平7中(浦和)

※女子団体1・2・3位と草加西高校(前年度優勝で推薦)、男子団体1・2・3位は東日本高校弓道大会に出場

大会・射会入賞記録

●埼玉県弓道選手権大会(称号者の部)

平成30年5月26日(土) 埼玉県立武道館 参加者168名

①坂東 文(日高)、②市川政子(入間)、③石田徳光(小鹿野)、④高橋久雄(熊谷公園)、⑤岡本好久(越谷)

○全弓連会長楯争奪戦：岡本好久(越谷)

●埼玉県弓道選手権大会(有段者の部)

平成30年5月27日(日) 埼玉県立武道館 参加者252名(参段以下83名、四・五段169名)

○三段以下の部：①瀬戸達雄(川越)、②新島 崇(幸手)、③佐野正和(駒場)、④今泉雄仁(岩槻)、⑤森下珠美(所沢)

○四・五段の部：①時岡秀教(宮代)、②須藤啓介(記念)、③宮崎なつき(吉川)、④吉越眞之(草加)、⑤鈴木真人(朝霞)

○全弓連会長楯争奪戦：馬場信真(熊谷公園)

●第54回全日本女子弓道大会東日本の部

平成30年6月3日(日) 埼玉県立武道館

参加者：有段者の部494名、称号者の部346名、計840名

○有段者の部(参段以上)：①山崎尚美(寄居)、⑥荒川直美(入間)、⑦沼沢睦美(越谷)、⑧石井千尋(上尾)

○称号受有者の部：①鹿野信恵(越谷)、②坂東 文(日高)、④小川幸子(越谷)、⑤吉田沢美(朝霞)、⑦鷹巣光子(駒場)

●第30回埼玉県弓道遠的選手権大会

平成30年7月1日(日) 埼玉県立武道館 参加者166名

女子 四段以下 ①宮崎なつき(吉川)、②鋒城直子(草加)、③前澤梨江(春日部)

女子 五段以上 ①武政宏美(岩槻)、②小野千絵美(記念)、③中村尚美(越谷)

男子 四段以下 ①玉井京太郎(与野)、②吉川 学(日高)、③中村徳海(所沢)

男子 五段以上 ①千葉秀明(毛呂山)、②仲田孝雄(上尾)、③馬場信真(熊谷公園)



選手と係が一丸となり行われた
女子大会(東日本の部)

総合優勝：(各部門優勝者による射詰競射)：①宮崎なつき(吉川)

●全日本弓道遠的選手権大会出場選手二次選考会

平成30年7月8日(日) 埼玉県立武道館 参加者20名

○女子の部選手：中村尚美(越谷)、小野千絵美(記念)、鷹巣光子(駒場)

○男子の部選手：長井敦史(熊谷公園)、仲田孝雄(上尾)、吉澤喜芳(啐啄)

●第17回明治神宮崇敬会全国弓道大会

平成30年7月22日(日) 明治神宮至誠館第二弓道場

○団体：②埼玉県弓道連盟Mチーム(池谷茂、永島英男、簡野肇平)

敢闘賞 埼玉連Aチーム(小野田晃夫・佐野正和・原田昌彦)

○個人：四・五段の部①長井敦史(熊谷公園)③簡野肇平(新座)④小室恵子(駒場)

○三段以下④佐野正和(駒場)⑤原田昌彦(駒場)

○特別賞：射道優秀者：長井敦史(熊谷公園)、小室恵子(駒場)

●第61回三県選抜弓道大会

平成30年8月5日(日) ぐんま武道館弓道場

団体／群馬県(61中30.3%)、埼玉県(58中28.9%)、栃木県(82中40.8%)

個人／○三段以下の部：①今泉雄仁②森下珠美

○国体男子：②長井敦史 ○特別参加：③廣松 弘



画・松本 正

●第73回国民体育大会(関東ブロック予選会)

平成30年8月25～26日 茨城県武道館弓道場(水戸市)

○少年男子／監督：鎌塚尚子(伊奈学園) コーチ：田中忠明(川越総合) 選手：種市惇輝(川越総合)、小島佑太(大宮光陵)、松元優介(伊奈学園)

○少年女子／監督：坂本 修(深谷第一) コーチ：古岡大路(坂戸西) 選手：小林優羽希(深谷第一)、荒井咲妃(久喜)、細淵菜月(坂戸西) ○成年／総監督：瀧上三郎(吉川)

○成年男子／出場選手：長井敦史(熊谷)、片山磨生男(岩槻)、高野 聖(久喜)

○成年女子／出場選手：宮崎なつき(吉川)、清水 麗(川越)、中村尚美(越谷)

●第56回埼玉県勤労者弓道選手権大会

平成30年9月2日(日) 埼玉県立武道館弓道場 参加者214名(69チーム205名+個人参加9名)

○団体の部：①吉川A(島倉康豪、五十川英俊、宮崎なつき)、②大宮C(濱井さやか、酒井章貴、白石美奈子)、③大宮B(新井奈都美、中倉友佳里、小林ミワ)、③上尾A(高橋好照、齋藤幾央、合田崇志)

○個人の部：①新島 崇(幸手)、②池田和貴(川口)、③長井敦史(熊谷公園)、④栗谷エミ(久喜)、⑤鈴木逸士(駒場)、⑥富田昌孝(静仙洞)、⑦増田裕子(所沢)、⑧大槻良雄(久喜)、⑨濱井さやか(大宮)、⑩中倉友佳里(大宮)
技能賞：宮崎なつき(吉川)、鈴木逸士(駒場)

●第31回埼玉県民総合体育大会【一般の部】

平成30年9月16日(日) 県立武道館弓道場 参加者239名(80チーム)

○女子の部／○近的団体：①越谷B(沼沢睦美、大西三枝子、吉田真紀子)、②狭山A(染谷美和、三角純子、佐野冬美穂)、③上尾I(渡部恵里子、杉山浩子、赤塚幾子) ○遠的団体：①上尾I(渡部恵里子、杉山浩子、赤塚幾子)、②さいたま市A(松田栄子、中島美佐子、鷹巣光子)、③熊谷市A(田本純子、蜂須明子、江田恵子)

○近的個人：①大西三枝子(越谷B)、②浅見陽子(秩父市)、③沼沢睦美(越谷B) ○遠的個人：①渡部恵里子(上尾I)、②鷹巣光子(上尾I)、③浅見陽子(秩父市)

◎三段以下の部／○近的団体：①県南 B(島倉康豪、内山翔太、宮島知也)、②さいたま市 F(瀬川博一、筑紫武人、柴崎光洋)、③日高川越坂戸(駒井 優、小峰賢一、加藤正史) ○遠的団体：①鴻巣市 A(田邊友明、堀江匡明、山縣邦悠)、②熊谷市 E(小島玄二、高荷國男、戸井田正夫)、③日高川越坂戸(駒井 優、小峰賢一、加藤正史) ○近的個人：①瀬川博一(さいたま市 F)、②宮島知也(県南 B)、③三田 明(春日部 E) ○遠的個人：①堀江匡明(鴻巣市 A)、②小島玄二(熊谷市 E)、③長嶋悟志(三芳 E)

◎四・五段の部／○近的団体：①久喜 C(千葉脩平、望月 衛、新里 陵)、②吉川(宮崎なつき、森 俊人、宮崎正範)、③久喜 D(池田義人、高橋 俊、吉田昭男) ○遠的団体：①久喜 D(池田義人、高橋 俊、吉田昭男)、②県南 A(秋元宏友、菊地利夫、村永政志)、③所沢 H(中村徳海、坂川隆人、飯尾 弘) ○近的個人：①宮崎正範(吉川)、②新里 陵(久喜 C)、③望月 衛(久喜 C) ○遠的個人：①秋元宏友(県南 A)、②内藤今朝雄(上尾 D)、③簡野肇平(新座 B)

◎称号者の部／○近的団体：①小川日高(安野雄次、井上 薫、国分菊雄)、②毛呂山(北村邦男、小駒 康、坂東 文)、③上尾 A(大西いづみ、大西悦代、伊藤博之) ○遠的団体：①さいたま市 J(武政宏美、松永芳栄、室町純子)、②所沢 P(熊井紀一、平山夏子、下田 徹)、③秩父市(冨田昌孝、黒沢 誠、若林武司) ○近的個人：①安野雄次(小川日高)、②筑井真一(熊谷市 G)、③設楽謙二(鴻巣市 C) ○遠的個人：①熊井紀一(所沢 P)、②若林武司(秩父市)、③室町純子(さいたま市 J)

●第 69 回全日本男子弓道選手権大会

平成 30 年 9 月 14 日(金) ～ 16 日(日) 全日本弓道連盟中央道場
出場選手：高橋久雄(熊谷公園)、本橋民夫(所沢)

●第 51 回全日本女子弓道選手権大会

平成 30 年 9 月 16 日(日) ～ 18 日(火) 全日本弓道連盟中央道場
出場選手：市川政子(入間)、浅野光子(記念)、松澤かおり(大宮)、須田明江(入間)

●第 59 回関東地域弓道選抜選手権大会

平成 30 年 9 月 23 日(日) 全日本弓道連盟中央道場
出場選手：○称号の部：村上龍男(上尾)、武政宏美(岩槻)、中島美佐子(大宮)、鈴木多恵子(吉川)、松澤かおり(大宮) ○有段の部：長井敦史(熊谷公園)、高野 聖(久喜)、須藤啓介(記念)、宮崎なつき(吉川)、平川みゆき(上尾)

●第 42 回埼弓連女子部弓道大会

平成 30 年 10 月 20 日 県立武道館 参加 286 名
参段以下の部：①高橋イマ子(和光)②石井千尋(上尾)③森下珠美(所沢)④戸塚香澄(ふじみ野)⑤平川清香(深谷)

四・五段の部：①奥加代子(新座)②藤田ゆかり(川島)③宮崎なつき(吉川)④大西三枝子(越谷)⑤徳田まゆみ(蕨) 称号の部：①片山久子(鴻巣)②上原倫子(熊谷公園)③吉澤和代(小澤)④市川政子(入間)⑤山崎朋美(北本)

知事杯：奥加代子(新座)

技能賞：片山久子(鴻巣)

●第 135 回明治神宮奉納全国弓道大会

平成 30 年 11 月 3 日(土) 明治神宮武道場至誠館弓道場
有段者の部：④桑原 忍、⑦小松美紀



画・松本 正



秩 父 支 部
支部長 石田 徳光

上半期の活動

支部長 石田 徳光

30年度も多くの方々のご指導とご支援を賜り、年度計画に基づく支部の活動が進んでおります。

<競技会>

●第1回カップ戦

4月15日(日) 秩父市立第1弓道場

参加123名

中学生 ①小泉莉彩②浅見綾香③杉原 成
高校女子①坂本ひかり②小櫃沙也香③鷹塚 彩
高校男子①島崎真城②黒澤玲央③播磨 光
一般女子①町田昭代②瀬戸美代子③町田悦子
一般男子①若林 綾②遠藤秀樹③守屋 豊

●第2回カップ戦

6月17日(日) 秩父市立第1弓道場

参加110名

中学生 ①島崎孝孔②柳澤有輝③小池巧紘
高校女子①齋藤花怜②坂本あかり③鷹塚 彩
高校男子①新井 翼②新井陸斗③浅賀大地
一般女子①大野きみ②浅見陽子③加藤春美
一般男子①井上 誠②石田徳光③藤井武政

●第3回カップ戦

7月15日(日) 秩父市立第1弓道場

参加110名

中学生 ①小池巧紘②内田藍菜③浅見綾香
高校女子①加藤 悠②強矢彩恵③鷹塚 彩
高校男子①新井陸斗②鈴木遙也③島崎伸孔
一般女子①町田ヨシ子②浅見陽子③瀬戸美代子
一般男子①若林 陵②丸山康弘③町田孝之

●第4回カップ戦

8月5日(日) 秩父市立第1弓道場

参加35名 近的

一般女子①浅見陽子②町田悦子③吉澤和代
一般男子①富田昌孝②石田徳光③町田文利

●第60回三道大会

4月29日(日) 秩父市立第1弓道場

参加442名

○中学生/団体①秩父第1中学校A(関根耀佑、藤滉平、小池 巧)②所沢市スポーツ少年団F(石井叶生、熊井雪乃、田中希実)③秩父市スポー

ツ少年団B(大渡彩幸、新井瑠偉、澤登真鈴)個人 ①小池巧紘(秩父第1中学校A)②柳澤有輝(秩父第1中学校D)③内田藍菜(秩父第1中学校B)

○高校生/団体①飯能高校A(町田拓矢、舟崎光輝、杉山大知)②川越高校D(二反田圭佑、山田佳史、二村 洋)③秩父高校A(三橋正博、島崎伸孔、川西俊祐) 個人①齊藤恭子(山科学園高校D)②(川西俊祐秩父高校A)③宮原 慶(秩父農工科学高校D)

○一般/団体①所沢市弓道連盟G(飯尾 弘、藤田 良、平山夏子)②入間市弓道連盟A(西崎明伸、下田暹次、杉山勝美)③横瀬町弓道会B(丸山康弘、加藤佳宏、町田文利) 個人 ①山科くるみ(横瀬町弓道会A)②加藤孝一(羽生市弓道連盟A)③相羽清子(志木市弓道連盟)

●寿射会

6月24日(日) 皆野町弓道場 参加21名

①町田昭代 ②黒澤 誠 ③柿沼三千子

<弓道教室>

秩父支部では、高齢化が進み新人特に若い方々が少ない傾向です。新入会員を期待して、支部内の各道場で弓道教室が7月から8月にかけて実施されました。



<審査会>

第4回地方審査

9月23日(日) 秩父市立第1弓道場

申込数217名(高校生15名、一般202名)

審査委員長に範士八段飯島千代子先生にお越しいただき、9時25分に開始いたしましたが、終了が午後4時40分頃となりました。大勢の受審者のため結果発表は午後6時からとなり辺りがうす暗くなってしまいました。

しかし、先生方をはじめ地元役員受験者の方々のご協力で大きな問題もなく実施できました。ありがとうございました。

県北支部

支部長 高橋 久雄

県体予選会について

支部長 高橋 久雄

8月19日の県体予選会は、選考方法が初めての試みでしたが、混乱もなく無事に終えることができてホッとしています。皆様にはご協力ありがとうございました。

なお、参加者は62名で、昨年と比べ減りましたが、これは次の点が大きかったようです。

①カップ戦を兼ねていた予選会を単独開催とし、市町村枠(道場枠)ではなく選手個人の選考に変更したこと。

②予選種目を近的だけでなく、新たに遠的も追加したこと。

この選考方法の変更により、各道場で任意にチームが組めなくなったことや、遠的施設のない道場が練習の機会に恵まれなかったことで、予選会を敬遠された人もいたようです。

しかし県体は、市町村毎の代表者の大会であり、種目も近的と遠的の両方があります。また、予選会は広く平等に出場機会が与えられるべきとも考えます。来年もこの方法で行なう予定ですが、課題も見つかりましたので、さらに検討を重ねていきます。遠的施設は熊谷運動公園弓道場と行田市弓道場ですが、他道場の人も是非積極的に近くの遠的場を活用していただきたく思います。そして来年は大勢の人が参加されることを期待しています。

<競技・講習会>

●第一回支部カップ戦

平成30年6月17日(日) 熊谷運動公園弓道場
参加116名 40チーム

○団体①熊谷公園F：関口尚人、馬場信真、田本純子 ②深谷H：佐藤文治、横村公雄、寺崎正道 ○個人一部①飯島千代子(深谷BT)②田本純子(熊谷公園)③寺崎正道(深谷稲荷) 二部①馬場信真(熊谷公園)②中唯志(吹上)③関口尚人(熊谷公園) 三部①堀さやか(熊谷武道館)②浅見佳代子(熊谷公園)③高荷國男(熊谷公園)

●第二回支部カップ戦

平成30年7月29日(日) 本庄市営弓道場
参加112名 38チーム

○団体①鴻巣D：荻原重弘、田邊友明、原昌

彦 ②熊谷公園F：莊子宏幸、長井敦史、茂木昭夫 ○個人一部①若林孝子(本庄)②手嶋照晃(熊谷公園)③原昌彦(鴻巣) 二部①中唯志(吹上)②飯塚光生(本庄)③荻原重弘(鴻巣) 三部①森雅邦(行田)②田中清澄(本庄)③加藤孝一(羽生)

●県体・武道大会支部予選

平成30年8月19日(日) 熊谷運動公園弓道場
参加62名 個人①関口尚人(熊谷公園)②西岡謙市郎(深谷BT)③青木豊(行田)

●第107回県北高校弓道大会

平成30年8月27日(月) 熊谷運動公園弓道場
参加15校267名(男子126名、女子141名)
男子優秀校：成徳深谷高校
女子優秀校：深谷第一高校

○個人男子①森泰高(成徳)②勝俣皓太郎(成徳)③大澤碧空(熊商) ○女子①芦埜凧沙(深一)②町田英梨奈(熊女)③溝口真生(熊農)

●支部特別講習会(四段)

平成30年4月21日(土) 熊谷運動公園弓道場
参加25名 講師：松沢岳範士
内容：審査方式、射技指導等

●第一回支部講習会(初段～参段)

平成30年4月28日(土) 本庄市弓道場
参加42名 講師：岡芹喜行、北田や知代、高橋久雄各教士 内容：審査方式、基本の動作等

●第一回支部練成会

平成30年6月6日(水) 寄居町立弓道場
参加27名 講師：飯島千代子範士、戸塚藤代、江田恵子各教士

内容：基本体、審査方式、射技指導、持的射礼

●第二回支部講習会(参段、四段)

平成30年7月15日(日) 熊谷運動公園弓道場
参加42名 講師：飯島千代子範士、根本武次郎教士

内容：審査方式、基本動作、射技指導等

●第二回支部練成会

平成30年9月5日(水) 熊谷運動公園弓道場
参加27名 講師：岡芹喜行、戸塚藤代各教士、松本信一郎錬士

内容：矢渡、審査方式、射技指導

●第三回支部講習会(初段～四段)

平成30年9月30日(日) 深谷BT弓道場
参加65名 講師：飯島千代子範士、島村保男、高橋久雄各教士

内容：審査方式、体配・射技指導、学科問題の書き方について、審査申込書の書き方説明

東 部 支 部

支部長 北原きい子

30 年度上期活動報告

副支部長 二見 富士夫

昨年度から発足した北原支部長以下の新体制も1年が経過し、新たな心構えで継続的な改善を進めております。例えば、支部が主催する競技会では、各連盟から選出された競技役員が自連盟の役割を積極的に遂行してくれておりますが、競技終了後には競技役員全員による反省会を開催し、その日の問題点、良かった点、今後の改善案などを話し合い、競技会の実績とともに反省記録として残しております。これにより組織としてのノウハウが蓄積され、競技役員の意志疎通も良くなることで、競技会の運営が円滑になりつつある感触を得ております。

この様な活動を進めながら、本年度上期には支部会員から要望の強かった「支部遠の大会」を試行することができ、来年度からの本格開催に向けての貴重な経験を積むことができました。

昨年度末に新たに開催し好評を博した「弓道講座」(座学)についても、本年度以降も継続して開催される見込みです。

これからも支部弓友の皆さんの期待に応えて、改善を繰り返しつつ活動を推進して行きたいと考えております。

< 競技・講習会 >

●遠の大会

平成30年6月2日(土) 県立武道館弓道場
参加68名 ①金子知義(春日部)②川口光弘(春日部)③高野 聖(久喜)

●東部支部選手権 兼 県民体育大会予選会

平成30年7月22日(日) 大宮公園弓道場
参加137名

○選手権

①新島 崇(幸手)②荒木寛樹(春日部)③新里 陵(久喜)

○県民体育大会予選

◇女子の部:①春日部 D②上尾 I③宮代 A

◇参段以下:①幸手 A②春日部 E③桶川 C

◇四・五段:①久喜 C②上尾 D③久喜 D

◇称号の部:①春日部 K②上尾 A③久喜 E

●道場対抗戦 兼 武道大会予選会

平成30年9月15日(土) 県立武道館弓道場
参加137名

○道場別対抗戦:①久喜②春日部③幸手

○団体戦:①春日部 E②幸手 E③久喜 C

○個人戦:①奥山和美(春日部)②鈴木美奈(久喜)③北原きい子(北本)

○武道大会出場選手

◇男子:新里 陵(久喜)、遠田弘志(幸手)、木村鷹士郎(桶川)、新島 崇(幸手)、池田義人(久喜)、川口光弘(春日部)

◇女子:門脇三葉子(春日部)、前澤梨江(春日部)、奥山和美(春日部)、鈴木美奈(久喜)、山崎朋美(北本)、栗谷エミ(久喜)

●第1回講習会(四段以下の部)

平成30年3月31日(土) 県立武道館弓道場
参加45名 講師:支部称号者 内容:基本体、入場から退場までの動作、審査の要領での行射、肌脱ぎ・櫛さばき、射技指導

●第2回講習会(五段以上の部)

平成30年6月16日(土) 県立武道館弓道場
参加18名 講師:戸塚藤代教士 内容:矢渡と介添、審査の要領での行射と講評、基本体、入場から退場までの動作、肌脱ぎ肌入れ・櫛さばき、射技指導、持的射礼、一つの射礼

●第3回講習会(三段以下の部、参・四段の部)

平成30年7月15日(日) 大宮公園弓道場
参加55名 講師:支部称号者 内容:審査の要領での行射、基本体、入場から退場までの動作、肌脱ぎ肌入れ・櫛さばき、射技指導

●第4回講習会(高校生の部)

平成30年8月5、7日(日、火) 大宮公園弓道場
参加67名 講師:支部称号者 内容:基本の姿勢、基本の動作、執弓の姿勢、矢番え動作、審査における入場から退場までの動作の流れ、審査の要領での行射、射技指導

●第5回講習会(三段以下の部、参・四段の部)

平成30年9月9日(日) 大宮公園弓道場
参加51名 講師:岡田義助教士、市川政子教士 内容:審査の要領での行射、基本の動作、執弓の姿勢、矢番え動作、入場から退場までの動作、肌脱ぎ・櫛さばき、射技指導

県南支部

支部長 森 正一

新執行部に代わって

川口市弓道連盟 高橋 なみえ

今、世の中「平成最後の…」で溢れる中、我が川口市弓道連盟は今年度より会長が代わりました。女性の会長です。

今の時代、女性の会長は珍しくはありません。しかしながら、理事長・競技委員長・指導委員長等主だった役職全てが女性という所はそう多くはないでしょうか。当道場の会員の現状を見ますと、残念ながらそれだけ熟練世代の男性が少ないというのが現実です。

今まで川弓連を支え、動かしてきた方々も長い年月と共に亡くなられたり、退会されたりと寂しい限りです。次の世代に引き継ぐために女の細腕(の人もいます)でもう少し頑張っ行ってこう！と、話し合っています。

そしてもう一つの大きな変化が駐車場の有料化です。今まで無料で自由に駐車出来ていたのが出来なくなり、その上、他団体の行事と重なると、限られた駐車台数内では停めることすら難しくなっていました。月例会等の行事がある度、限られた駐車台数内にどう収めるかが問題となり、毎度執行部の頭を悩ませています。最初から有料駐車場なら悩むこともないのですが、恵まれていた環境故の贅沢な悩みかもしれません。

さて、来年度平成最後の年に川口市弓道連盟は創立70周年を迎えます。過去の歴史を紐解くと、合宿や都市交歓射会といった今でも川弓連の根幹を成す行事が記されています。その伝統を絶やす事なく継続していくためには会員の増加が急務となっています。

その一環に初心者教室がありますが、会員の定着は思うようにいきません。フォローを行ってもそれが終わると、あるいは初段に合格すると皆さん足が遠のいてしまいます。同じ思いをされている道場も多いと思いますが…初心者が定着する妙案はないのでしょうか。

様々な悩みを抱えつつ新生川弓連は走り出しましたが、皆で悩み、知恵を出しながら諸先輩方に恥じないような新しいページを刻んでいきたいと思えます。

<競技・講習会>

●平成30年度県南支部優勝杯戦

平成30年6月10日(日) 県立武道館弓道場
参加101名

<近的の部>団体戦 ①吉川B(森 俊人・横山浩輔・宮崎なつき)②吉川A(木内暁子・宮崎正範・瀧上三郎)③草加E(小野寺佳祐・宮島知也・大川欣之)

個人戦 ①村永政志(川口)②大西三枝子(越谷)③寶田秀子(蕨)

<遠的の部>個人戦①大川欣之(草加)②宮崎正範(吉川)③島倉康豪(吉川)

●平成30年度県南支部選手権大会

平成30年7月16日(月) 大宮公園弓道場
参加101名

①中村尚美(越谷)②宮澤梢枝(川口)③齋藤友三(越谷)

●第1回参・四段講習会 大宮公園弓道場

平成30年3月31日(土) 参加30名

講師：森 正一、豊田英子各教士

●第1回弐段以下講習会 大宮公園弓道場

平成30年4月29日(日) 参加41名

講師：小川幸子、相馬喜恵、大竹淑夫各教士

●第2回四段以下講習会 大宮公園弓道場

平成30年6月2日(土) 参加51名

講師：岡田義助、森 正一、相馬喜恵、大竹淑夫各教士

●第3回参・四段講習会 大宮公園弓道場

平成30年9月30日(土) 参加37名

講師：鷹巣光子、坂本 恵、大竹淑夫各教士

●県南支部高校生講習会

①平成30年7月28日(土)

大宮公園弓道場 台風の影響で中止

②平成30年7月29日(日) 参加93名

大宮公園弓道場 講師：大竹淑夫教士、見木徳三、福島佳子、星野里美、矢部 慶、五十川英俊各錬士

※講習内容は各段位に応じて体配、射技指導等を実施

●県南東部高校生大会

平成30年8月18日(土) 大宮公園弓道場

審判員：福島 實、荻谷道子各錬士

県 央 支 部

支部長 古泉 利昭

女性のための大宮武道館弓道教室

副支部長 小島 節子

昭和55年に大宮体育館で、大宮市の依頼により弓道教室が開かれました。夜の一般の部と午前中の婦人弓道教室が始まりました。

名前のとおり女性だけで少し時間に余裕のある方や体験したい方を対象に、朝9時から11時で行われました。平成22年まで長い間続き、その後少しの間一般教室になりました。

昨年大宮武道館と相談させて頂き、快諾を得て女性のための弓道教室生を募集したところ、大勢の申込の中20名の方が参加しました。

教室は10回とフォロー10回で終了後7名が続けることになりました。指導者は女性だけの会で、称号の先生方や多くの方の協力で教室が終わってからも指導しています。

そして、今年6名の受審者が全員合格になりました。受審の緊張や不安から合格した時の喜びと充実感で一層稽古に励んでいます。長く続けていくことを目標に、穏やかに楽しく正しく時には厳しくと考えて指導しています。

これからも続けていける様ご指導よろしくお願ひ致します。

< 競技・講習会 >

●県民総合体育大会選手候補者選考会

平成30年6月23日(土) 大宮公園弓道場
参加114名 選手候補者を選出

●武道大会選手候補者選考会

平成30年7月21日(日) 大宮公園弓道場
参加58名 選手候補者16名を選出

●夏季高校生(中学生)大会兼武道大会選考会

平成30年8月24日(金) 大宮公園弓道場
参加589名 ○団体男子/①浦和A(菅・山中・大村)②大宮東A(岡崎・新井・宮本)③埼玉栄A(高信・峠・清水) ○団体女子/①浦和北A(天沼・嶋原・仲川)②与野A(高・後藤・松岡)③浦和西B(西田・吉中・山本) ○個人男子/①菅 達皓(浦和)②清水雄太(埼玉栄)③新井龍也(大宮東) ○個人女子/①天沼美優香(浦和北)②栗林沙弥(浦和南)③爪川菜波(大宮光

陵) ○中学生個人の部/①阿林すず(市立浦和中)②新井彩乃(埼玉栄中)③川合萌々香(市立浦和中)

●県民総合体育大会選手候補者最終選考会

平成30年9月1日(土) 大宮公園弓道場
参加91名 36名選出

●四段以下講習会

平成30年4月29日(日) 県立武道館弓道場
参加97名 講師:鷹巢光子教士、廣松 弘教士、勅使川原隆教士、吉田恒男教士、由岐中美智江教士、鈴木幸子教士、中国防子教士 内容:行射、体配・肌脱ぎ・櫛さばきの研修、射技指導

●参・四段講習会

平成30年6月16日(日) 大宮武道館弓道場
参加56名 講師:本橋民夫教士、中島美佐子教士、古泉利昭教士 内容:主任講師による実演講義、肌脱ぎ・櫛さばきの研修、射技指導

●貳段以下講習会

平成30年6月17日(日) 大宮公園弓道場
参加67名 講師:浅野有三教士、竹内せき子教士、松澤かおり教士、清水繁子教士、内容:体配の解説・実技研修・磔のつけ方等

●称号者講習会

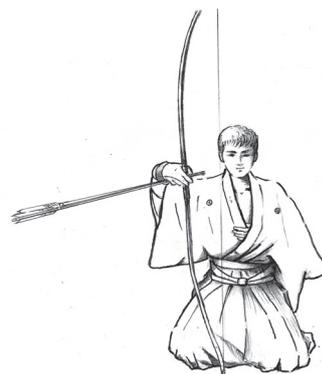
平成30年7月15日(日) 大宮武道館弓道場
参加57名 講師:石川武夫範士 内容:石川武夫範士の矢渡後一手行射、個別講評・射技指導

●貳段以下講習会

平成30年9月8日(土) 大宮公園弓道場
参加57名 講師:廣松 弘教士、小島節子教士、平野博幸教士 内容:行射と体配研修、主任講師の講和、射技指導

●参・四段講習会

平成30年9月8日(土) 大宮武道館弓道場
参加53名 講師:岡田義助教士、池田浩次教士、片岡一子教士 内容:行射後主任講師の講評、射技指導



画・松本 正

西部支部

支部長 池谷 茂

志木市弓道連盟今昔

志木市弓道連盟 平船 栄治

志木市弓道連盟は、昭和56年に31名の会員で発足しました。増減はありますが、ここ数年は60名強の会員が所属する比較的小きな連盟であると思います。

オリンピックイヤーの2020年には発足40周年を迎えようとしています。たかが40年されど40年…。発足当時のメンバー数名も現役で頑張っています。その反面世代交代は着々と進んでいます。私も連盟にお世話になって20年余りが過ぎました。先人からの伝統を継承しつつ、更に発展させていかなければと思うところです。

弓道場は、志木市民体育館に併設する武道場の3階屋上部分に設けられ、連盟発足の1年前に完成しました。40年近く使用された道場の床面は老朽化で限界に達していましたが、昨年張替えをしていただき、新しい床面となりました。もし機会がありましたらご利用しに来てください。

活動は、毎週土曜日を連盟練習日として道場を貸切りにし、基本動作の修練や体配を重視した練習を心掛け、射品・射技の向上を目的として練習に励んでいます。競技会は、連盟射会、市民大会、近隣四市で行う朝霞地区弓道大会を含め年8回の射会を行っています。連盟射会では、指導者一人と数名の会員で班を作り、全ての運営をその班に任せます。準備、当日の射侯を考え、矢渡、進行を行い、誰もが競技会の動きを覚えること、誰もが矢渡の所作が出来ることを目的に行っています。互いに競い合い、教え合い、切磋琢磨していく。そんな活気ある連盟を目指しているところです。

前文にも書きましたが、私はまだ20年…40年にはまだ半ば…。そこに達するにはやはり健康第一です！会員の皆さんに年度始めこう言いました。「弓道は生涯スポーツ、その為には身体を大事に、長生きをしましょう！」

皆さんと、楽しく、元気よく、弓道を続けていくことが一番の目指すところです。

<競技・講習会>

●中西部親善射会

平成30年7月16日(月祝) 日高アリーナ弓道場 参加：西部130名 中部82名、計212名

①佐野一義(中部：狭山)②安野雄次(中部：小川)③市川政子(中部：入間)

的中率、西部29.0%、中部、33.7%

●平成30年度西部支部読売新聞さいたま支局杯兼県体予選兼寿射会

平成30年8月5日(日) 所沢市民武道館弓道場 参加187名(55チーム・個人参加22名)

○読売杯／①飯尾 弘(所沢)②粕谷吉一(所沢)

③藤田 良(所沢) ○寿射会／◇寿Aの部：

①藤田 良(所沢)②下田 徹(所沢)③大塚進(朝霞)◇寿Bの部：

①豊田 愼(ふじみ野)

②熊井紀一(所沢)③渡邊 豪(ふじみ野)

○県体予選通過チーム／◇女子の部：所沢L(石川淳子・増田裕子・小島理恵)所沢J(澤田靖子・土井恵美子・中村康代)新座D(伊藤美知江・大熊弘子・仲二見ゆう子)◇三段以下の部：三芳E(里見典夫・重久幸司・長嶋悟志)三芳D(猪鼻正夫・荻原経市・猪鼻智江)所沢A(杉山博文・米澤真樹・中根幸二)◇四・五段の部：新座B(簡野肇平・青砥 勤・小川雄三)所沢H(中村徳海・坂川隆人・飯尾 弘)富士見E(西田洋一・高木真一・新井竹夫)◇称号の部：所沢P(熊井紀一・平山夏子・下田 徹)所沢R(粕谷吉一・篠原一郎・永島英男)ふじみ野E(三浦良子・豊田 愼・池谷 茂)

●第16回青少年武道西部地区大会(高校)

平成30年8月25日(土) 日高アリーナ弓道場 参加88名 ○個人戦◇男子：②新見広樹(所沢商業)○県武道大会選手／◇女子：山田愛子(所沢商業)平沼菜々華(所沢北)西田実央(所沢北)小松志帆(所沢北)小野寺千紘(所沢北)

◇男子：新見広樹(所沢商業)瀧本 光(所沢)山下玄人(所沢北)岡宮友介(所沢北)服部純也(所沢北)

●第26回西部支部選手権大会兼県武道大会選考会

平成30年9月1日(土) 所沢市民武道館弓道場 参加171名(50チーム・中学生15名・個人6名)○支部選手権／◇団体戦：①所沢H(飯尾 弘・平山夏子・下田 徹)②ふじみ野A(池谷 茂・三浦良子・齋藤安次)③所沢I(小山 等・熊井紀一・小山和枝)③志木F(大脇裕

中 部 支 部

支部長 蔦田 富男

美・新木清司・室町純子) ◇個人戦：①中村徳海(所沢)③植村亮子(所沢)③村山貴彦(ふじみ野) ○県武道大会選手/◇中学生個人：鹿野川璃羅・足立夕弦・高橋日和・野村優花・岡井 陸・上出純大・尾形 智・佐々木優奈・泉夏映・和合明莉◇一般男子・女子：候補に選ばれた選手において、今後2回の記録会を行い最終決定

●第2回支部講習会(三・四段/二段以下)

平成30年5月19日(土)

○三・四段：富士見市弓道場

参加者27名 講師：根本武次郎教士、福田ちえ子教士 内容：一手行射及び全体講評(射法八節図解に基づいて解説)、射技指導、仕上げ行射

○二段以下：大井弓道場

参加者43名 講師：戸塚藤代教士、永島英男教士 内容：一手行射、基本動作射法八節講評後、入退場等の指導講話及び射技指導、仕上げ行射

●夏期高校生講習会

平成30年8月8日(水) 所沢武道館弓道場

参加者72名 講師：池谷 茂教士、森川寛人教士、加藤良子教士

内容：体配研修(入場・退場・足の運び方・矢番え動作)、講師の先生方による一手行射(見取り稽古)、矢の処理・弦切れの処理、射技指導、仕上げ行射

●第3回支部講習会(二段以下)

平成30年9月8日(土) 富士見市弓道場

参加者46名 講師：岡芹喜行教士、吉本かをる教士 内容：一手行射、全体講評、講話(ゴム弓での稽古、図解の説明)、射技指導、仕上げ行射



画・松本 正

創立五十周年記念誌の思い出

～片居木栄一先生を偲んで～

川越市弓連・元埼玉弓連理事長
内河 輝臣



故 片居木先生

平成7年度評議員会にて、松沢 岳会長より「創立五十周年記念誌」作成の提案があり、ほぼ1年後に片居木栄一先生を委員長(当初は坂本昇先生)とする記念誌編集委員会が発足した。

私は片居木先生から副委員長にご指名いただき、主として入賞記録の原稿作成を担当した。たまたま当時の競技委員長の自宅が火災に見舞われ、埼玉弓連の競技記録がすべて焼失したため、記録の掘り起こしに苦慮した。

平成8年6月22日の編集委員会で、記念誌の構成(目次)、頁割振り、体裁、並びに原稿作成の分担と発刊までの日程などの第一次案がほぼ決まり、本格的な編集作業が始まった。

しかし、記念誌の作成は埼玉弓連として初めての事業であり、草創期からの資料の発掘と蒐集に膨大なエネルギーと時間を要した。このため片居木先生は、すでに引退された先人ご本人や遺族をはじめ、関係各方面を精力的に訪ね歩いた。よろこんで積極的に協力してくれた方、反面、何度伺っても埒があかず、非常に残念がり悔しがっておられたことも度々あり、そのご苦勞の程が偲ばれた。

その後、3～4ヶ月毎に編集委員会を開いて進行状況を確認しつつ、片居木先生の的確な指示のもとに編集作業は着実に進められた。

編集の最終段階で特筆すべきは、先生のご経験から編集委員のほかに校正を専門に担当する編集協力者を数名委嘱したことである。各原稿を順に回覧しながら、すべての原稿を少なくとも3人が目を通し、文脈、誤字、テニオハの点検など、校正に万全を期した。

こうして丸4年の歳月を要して、平成12年3月ようやく発刊の運びとなった。

完成した「創立五十周年記念誌」は、埼玉県

弓道連盟の宝ともいえる充実した内容に仕上がっており、これぞ先生の弓道に対する造詣の深さと記念誌編集への情熱、並びに2冊の弓道入門書出版のご経験の結集と言えると思います。

先生は記念誌の編集にまさに命をかけておられたようで、編集作業開始間もなく体調を崩して1ヶ月近く入院され、その後の通院治療中も、なかなか思うように回復しないとしばしばぼしておられた。周囲に心配をかけたくないと口外無用の厳命を受けていたので、入院のことはほとんどの方がご存じなかったと思われる。

なお、片居木先生は、浦和の森戸康之範士、久恵範士ご夫妻に師事し、いわゆる昔風の厳しい師弟関係の中で弓道の修練に励まれた方である。初めは所沢で数人の仲間と弓を引いていたが、33歳、二段のときに一念発起して森戸道場の門をたたき、両範士が亡くなるまで11年間にわたり、森戸同門会員として指導を受けたと伺っている。

片居木先生のご苦勞を身近に拝見し、多くのことを学ばせていただき深く感謝しております。

<競技・講習会>

●平成29年度 支部評議員会射会

平成30年3月25日(日) 川越運動公園弓道場 参加46名

□個人の部 ①安野雄次(小川町)②亀井恒男(川越市)③関 竹夫(日高市)

●県民総合体育大会中部支部予選

平成30年6月24日(日) 日高アリーナ弓道場 参加93名31組

□女子の部 日高飯川(篠原、町田、相澤)狭山A(染谷、三角、佐野)飯能A(染谷、杉本、朝日)

□三段までの部 小川C(島田、伊藤、島田)日高川坂(駒井、小峰、加藤)入間A(清水、湯本、中北)

□四・五段の部 入間B(田中、下田、五十嵐)狭山D(佐藤、加藤、佐野)入間C(上原、久保、小嶋)

□称号者の部 小川日高(安野、井上、国分)狭山入飯(宮崎、佐野、渡邊)毛呂山入間(北村、坂東、市川)

●中部・西部支部親善射会

平成30年7月16日(月) 日高アリーナ弓道場 参加212名

□個人の部 ①佐野一義(中部狭山)②安野雄次(中部小川)③市川政子(中部入間)

□団体の部 ①中部33.7%②西部29.0%

●第18回支部選手権大会兼読売新聞さいたま支局長杯争奪戦兼武道大会支部予選

平成30年7月29日(日) 日高アリーナ弓道場 参加157名

□団体の部 ①日高A(篠原、中山、相澤)②狭山B(大石、加藤、佐野)③狭山A(大川、染谷、中井)

□個人の部 ①島田 勲(ボッシュ)②染谷美和(狭山)③大貫友絵(川越)

●支部講習会(1-1)

平成30年3月31日(土) 日高アリーナ弓道場 参加45名

講師：市川政子、嶋田富男、水岡 勇各教士

●支部講習会(1-2)

平成30年4月7日(土) 日高アリーナ弓道場 参加49名

講師：本橋民夫、戸塚藤代、嶋田富男各教士

●支部講習会(2)

平成30年7月8日(日) 日高アリーナ弓道場 参加55名

講師：市川政子、嶋田富男、寶田常則各教士

●支部講習会(3)

平成30年9月8日(土) 川越運動公園弓道場 参加57名

講師：西崎明伸、嶋田富男、水岡 勇各教士

●特別講習会

平成30年9月16日(日) 入間市武道館弓道場 参加16名

講師：松沢 岳範士

編集後記 62号

皆様からいただいた原稿を読んでいたら、今年も残り僅かとなっていることに気づきました。62号が皆様のお手元に届く頃にはカレンダーが今年最後の1枚になっていると思います。私事ですが定年後弓道に打ち込み、審査を追いかけ、日々の行事を熟していましたが、アッという間に一年が過ぎていき、毎年同じことを繰り返している自分に気づきました。一年があまりにも短く感じるのは自分だけなのでしょうか？

それはさておき、今号は時の流れを感じる原稿が目立ったように思います。過去から脈々と続いていたものが現在(いま)に繋がり、現在(いま)がさらに未来を造っていく。そう感じさせられる原稿でした。埼玉連の未来は、現在(いま)の私たちにかかっていると改めて教えられた気がします。

編集長 高橋久雄

【投稿記事】

学科問題の解答について

高橋久雄

最近、地方審査で何回か学科担当審査員をさせていただきました。解答を読んでいて立派な解答をされる人もいれば、少しピントのずれた解答を書く人もいます。教本を丸写ししただけの人、数行しか書かない人、全く的外れな解答をする人もいます。

昔は試験問題が公開されていませんでした。そのため受審者が各自で過去問を探し、その解答を作って、学科試験の対策をしてきました。しかし時々、新しい問題が出題されることもありました。そんなときは、何度も書いたり消したり、また書いたり繰り返して、限られた時間の中で内容と文章の組み立てが大変でした。それから比べると・・・

今は、昔と違い問題が公開されています。A群B群合わせて10問程度で、その中から各群1問出題されるだけです。問題数も限られているので、解答を事前に準備することも可能です。反面、初心者から『何を書いたらよいか、よくわからない』という声も聞きます。『自分が教わったこと、教本で勉強したことを書けばよい』と答えますが、初めてで慣れない人には戸惑いもあるように感じました。

このようなことから僭越ではありますが、解答方法について、私見を投稿させていただきました。

★) 解答のポイント

- ・ 問題の意図を取り違えないで適切な解答を。
- ・ 必要にして且つ十分な内容を。
- ・ 要領よく、自分の言葉で。

審査を受けようと思ったときから事前に準備しておくことが大切です。各問題が何を求めているのかよく考え、質問に対して必要で十分な内容を作る。それを要領よく自分の言葉で、解答用紙に収まるように纏めておくことが大切になってきます。

★) 例として、以下の問題について考えます。

問題：○○○について述べなさい

○○○にはいろいろな言葉が入れられます。「足踏み」でも「胴造り」でも。

このような問題のとき、段位に応じて解答内容のレベルは変わりますが、以下の4項目を記述することができます。

1. 基本的条件、動作や形の説明を記述する。

○○○とはどういうこと、どういう形、どういう動作？等

2. 重要性を記述する。

○○○はなぜ重要なのか、なぜ大切なのか、なぜ必要なのか、なぜ守らないといけないのか？等。

3. 注意事項を記述する。

○○○のために注意することは、気をつけることは、留意すべき点は？等

4. 「普段自分はどのようにしているか」を記述する。

○○○について普段自分はどんな課題に取り組んでいるか、どうやっているか、どこを注意しているか等

これらの内容を解答用紙に収まるように用意しておけばよいのです。

他の問題もこれに準じて記述すればよいと思います。例えば、○○○の重要性を問われているのであれば、上記項目(2)を主体に記述すればよいです。

要領良くということでは、箇条書きも一つの方法です。また、時々弓道誌に掲載された解答例を研究するのもよいと思います。

折角問題が公表されているのですから、合格点を採るだけの解答ではなく、審査員を唸らせる解答を是非目指して欲しいと思います。

最後になりますが、解答のポイント等は昭和48年3月号の弓道誌に掲載された吉永一先生の「学科問題の書き方指導法(一)」を参考にさせていただきました。



松沢範士の弓道講座 (第 11 回)

下の表は、往時 弓道機関誌に1年間の地区別受審者・合格者の一覧表の掲載があり、全国
 の状況を知る意味で大変参考になりました。今回その意味合いで、同一様式で平成29年度の一覧
 表を作成しました。参考にさせていただければ幸いです。



平成29年度 全弓連 中央審査 受審者・合格者数一覧

| 審査名/日 | 六段 | | | 七段 | | | 八段 | | | 錬士 | | | 教士 | | | 全弓連 合計 | | | 埼玉 合格 率 | |
|--------|------------------------|------|-----|------|------|-----|-----|-----|-----|------|------|-----|------|------|-----|--------|------|-----|---------------|------|
| | 受審 | 合格 | % | 受審 | 合格 | % | 受審 | 合格 | % | 受審 | 合格 | % | 受審 | 合格 | % | 受審 | 合格 | % | | |
| 定期中央 | 定期 (京都) 5月4,5日 | 413 | 20 | 4.8 | 353 | 6 | 1.7 | 147 | 2 | 1.4 | | | | 549 | 14 | 2.6 | 1462 | 42 | 2.9 | 1.6 |
| | 定期 (仙台) 7月7,8日 | 389 | 13 | 3.3 | 181 | 6 | 3.3 | 84 | 0 | 0.0 | | | | 387 | 13 | 3.4 | 1041 | 32 | 3.1 | 0.7 |
| | 定期 (福岡) 9月1,2日 | 196 | 5 | 2.6 | 137 | 5 | 3.6 | 73 | 1 | 1.4 | | | | 269 | 8 | 3.0 | 675 | 19 | 2.8 | 0.0 |
| | 定期 (東京) 10月31~11月2日 | 505 | 21 | 4.2 | 300 | 8 | 2.7 | 119 | 0 | 0.0 | | | | 639 | 14 | 2.2 | 1563 | 43 | 2.8 | 3.3 |
| | 定期 (名古屋) 2月6~8日 | 420 | 25 | 6.0 | 202 | 10 | 5.0 | 87 | 0 | 0.0 | | | | 503 | 9 | 1.8 | 1212 | 44 | 3.6 | 1.0 |
| | 定期中央小計 | 1923 | 84 | 4.4 | 1173 | 35 | 3.0 | 510 | 3 | 0.6 | | | | 2347 | 58 | 2.5 | 5953 | 180 | 3.0 | 1.9 |
| 臨時中央 | 東海 (鈴鹿) 5月20,21日 | 269 | 15 | 5.6 | 70 | 0 | 0.0 | | | | 460 | 12 | 2.6 | | | | 799 | 27 | 3.4 | 2.9 |
| | 北海道 (札幌) 8月26,27日 | 60 | 4 | 6.7 | 23 | 0 | 0.0 | | | | 75 | 2 | 2.7 | | | | 158 | 6 | 3.8 | 0.0 |
| | 北信越 (福井) 9月16,17日 | 162 | 12 | 7.4 | 28 | 0 | 0.0 | | | | 203 | 10 | 4.9 | | | | 393 | 22 | 5.6 | 0.0 |
| | 関東 (千葉) 9月30日,10月1日 | 293 | 15 | 5.1 | 62 | 1 | 1.6 | | | | 592 | 23 | 3.9 | | | | 947 | 39 | 4.1 | 3.4 |
| | 中国 (倉敷) 10月28,29日 | 183 | 13 | 7.1 | 75 | 0 | 0.0 | | | | 338 | 15 | 4.4 | | | | 596 | 28 | 4.7 | 0.0 |
| | 東北 (郡山) 10月14,15日 | 262 | 14 | 5.3 | 56 | 1 | 1.8 | | | | 463 | 10 | 2.2 | | | | 781 | 25 | 3.2 | 1.9 |
| | 九州 (都城) 11月20,21日 | 125 | 6 | 4.8 | 40 | 0 | 0.0 | | | | 184 | 5 | 2.7 | | | | 349 | 11 | 3.2 | |
| | 近畿 (田辺) 12月2,3日 | 105 | 1 | 1.0 | 41 | 1 | 2.4 | | | | 179 | 8 | 4.5 | | | | 325 | 10 | 3.1 | 0.0 |
| | 四国 (松山) 3月17,18日 | 145 | 9 | 6.2 | 47 | 1 | 2.1 | | | | 225 | 6 | 2.7 | | | | 417 | 16 | 3.8 | 0.0 |
| 臨時中央小計 | 1604 | 89 | 5.5 | 442 | 4 | 0.9 | | | | 2719 | 91 | 3.3 | | | | 4765 | 184 | 3.9 | 0.0 | |
| 教員 | 教員 (大阪) 8月12日 | 18 | 2 | 11.1 | | | | | | | 38 | 2 | 5.3 | | | | 56 | 4 | 7.1 | |
| | 特別 (中央) 12月16,17日 | | | | | | | | | | 189 | 53 | 28.0 | 88 | 19 | 21.6 | 277 | 72 | 26.0 | 20.0 |
| | 特別 (都城) 3月26日 | 159 | 8 | 5.0 | 59 | 0 | 0.0 | | | | 223 | 12 | 5.4 | | | | 441 | 20 | 4.5 | |
| | 臨時中央小計 | 177 | 10 | 5.6 | 59 | 0 | 0.0 | | | | 450 | 67 | 14.9 | 88 | 19 | 21.6 | 774 | 96 | 12.4 | |
| 錬士臨時中央 | 近畿 (京都) 5月28日 | | | | | | | | | | 193 | 3 | 1.6 | | | | 193 | 3 | 1.6 | 0.0 |
| | 九州 (熊本) 6月4日 | | | | | | | | | | 213 | 8 | 3.8 | | | | 213 | 8 | 3.8 | 0.0 |
| | 北海道 (帯広) 6月14日 | | | | | | | | | | 80 | 4 | 5.0 | | | | 80 | 4 | 5.0 | 0.0 |
| | 上信越 (長野) 6月18日 | | | | | | | | | | 524 | 15 | 2.9 | | | | 524 | 15 | 2.9 | 2.1 |
| | 中国 (広島) 6月25日 | | | | | | | | | | 222 | 8 | 3.6 | | | | 222 | 8 | 3.6 | 0.0 |
| | 東北 (仙台) 7月9日 | | | | | | | | | | 488 | 18 | 3.7 | | | | 488 | 18 | 3.7 | 4.0 |
| | 四国 (徳島) 8月日 | | | | | | | | | | 157 | 3 | 1.9 | | | | 157 | 3 | 1.9 | 0.0 |
| | 関東 (水戸) 11月12,13日 | | | | | | | | | | 541 | 21 | 3.9 | | | | 541 | 21 | 3.9 | 2.4 |
| | 東海 (岐阜) 11月19日 | | | | | | | | | | 385 | 14 | 3.6 | | | | 385 | 14 | 3.6 | 0.0 |
| | 錬士臨時小計 | | | | | | | | | | 2803 | 94 | 3.4 | | | | 2803 | 94 | 3.4 | 2.5 |
| 全弓連 合計 | 3704 | 183 | 4.9 | 1674 | 39 | 2.3 | 510 | 3 | 0.6 | 5972 | 252 | 4.2 | 2435 | 77 | 3.2 | 14295 | 554 | 3.9 | 2.6 | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|-----|----|-----|-----|---|-----|----|---|-----|-----|----|-----|-----|---|-----|------|----|-----|--|
| 埼玉 合計(率) | 344 | 10 | 2.9 | 113 | 0 | 0.0 | 21 | 1 | 4.8 | 515 | 14 | 2.7 | 238 | 7 | 2.9 | 1231 | 32 | 2.6 | |
|----------|-----|----|-----|-----|---|-----|----|---|-----|-----|----|-----|-----|---|-----|------|----|-----|--|

今回、趣を変えて平成29年度中央審査の結果を表に纏められた資料を頂きました。松沢先生は審査毎に全国や埼玉県の合格率を算出されているそうです。(誌面の関係で埼玉連は合格率のみ掲載) ご長寿の秘訣が伺われます。(編集部)